

1971年に望む

勝山家畜保健衛生所長 小坂 静夫

新年に思う

正月は生活上の大きな節として、人生や社会について静かに考え、お互いの思考と行動のあり方を正すべき時でありま

昔にはマイカーが氾濫し、家庭には電化製品が行き渡り、休日の観光地は四季を通じて人の波が押し寄せています。全

昨年七〇年代のスタートの年として、各地でふさわしい催しが行なわれ、表面的には、あたかも高度成長の波に乗った

るが、まさに七〇年の農政は「曲りかど」であると同時に、人間の総英知を傾けて立ち向うべき方向を示した転換期といえるでしょう。

この一〇年間、毎年元旦の零時を期して家族そろって氏神様に参詣する習わし

真庭の昨今

ここ作北の地に着任して一年、漸く過疎地帯の実態や農業、なかんずく畜産の方向づけ等について、その悩みの一帯を

二月号目次

一九七一年に望む……………小坂静夫…1

◇鶏 試

土壌による鶏糞乾燥機

の脱臭作用……………加藤 栄…2

◇和 試

屋外飼育による肉牛肥

育の現状と問題点

……………黒田昭昌…4

第九回岡山県枝肉共進

会の成績……………片寄 功…6

◇酪 試

畜産目的のためのSP

F豚実用化……………末長 謙…8

体力低下とケトージス

……………小福田満郎…11

研究生報告(四)

ウソの中のマコト……………未知己…14

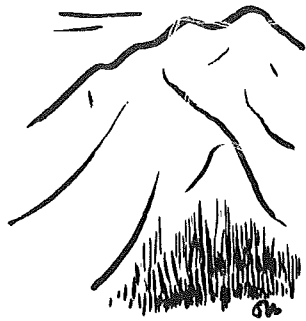
畜産を取り巻く社会環境はきびしくなちふさぎ、時時、停滞と発展の交錯がおりなされていきます。

昨年の忘年会に勝山家畜保健衛生所全員の年間五大ニュースのアンケートをまとめたが、その内容は、

- (一)、家畜保健衛生所の新築工事進む。(二)、ソフトボール県大会に初優勝なる。(三)、ジャージー種雄牛二頭更新す。(四)、放牧衛生事業軌道にのる。(五)、過疎公害にいとむ畜産衛生。

といった問題が取り上げられました。これは真庭地域の畜産の現状を端的に表現するもので、その概要について申し上げます。

家畜保健衛生所の新築移転については、国の方針に基づき広域家畜保健衛生所として整備し、家畜の保健行政のきよ点としての機能を発揮させるため実施されているものです。幸い工事は順調に進展し、三月二十日の完成を目標にあらゆる努力が払われています。とりわけ関係機関や



畜産技術者の方々は身近な自分のこととして注目し、援助されている姿は真庭ならではの感じがいたします。敷地二、三、四平方メートル、建物四九〇平方メートルの近代的な勝山家畜保健衛生所が、七〇年代の畜産の一翼をなすべく雄々しくはばたくのも近いことでしょうか。

更新しました。ニュージーランドと酪農大

雪におおわれた県北の大地は、静かに長い冬眠を続けています。しかし、その大自然は実に美しく、豊かな人間性を育み、春の芽生えを約束しています。こうした環境においてこそ、愛畜心に富んだ真の畜産人が生まれ、家畜も最高の能力を発揮することができるでしょう。

作北を愛す

「新たなよろこびいだき勝山の山里深き春雪をふむ」

「作北の尊き自然ありてこそ 人畜とわにすこやかに伸ぶ」

養鶏試験場だより

土壤による

鶏糞乾燥機の脱臭作用

技師 加藤 栄

いて述べてみる。

一、排気ガスの成分

養鶏家の悩みのたねは、鶏の多羽数化に比例して大量に排池する鶏糞の処理とそれに伴って発する悪臭である。鶏糞乾燥および焼却過程で発する排気ガスは、地域住民の環境保全という観点から養鶏家側だけの問題としてはすまさないのが現状である。

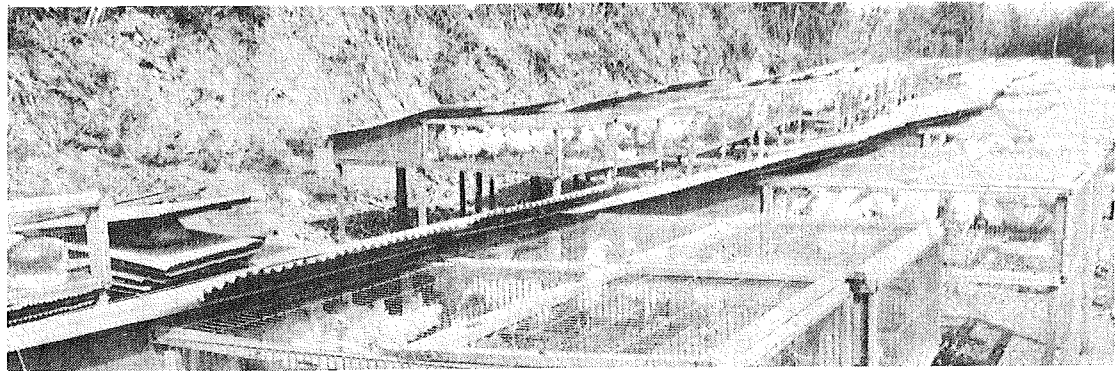
鶏糞の機械乾燥時に発生する排気ガスの脱臭方法は、色々の方法が研究されてきた。その中でも脱臭効果の高いものとして昨年本誌九月号に掲載した土層脱臭装置がある。前回は、その作り方について記したが、今回は脱臭作用の実際につ

二、土壤による脱臭

土壤粒子の間に排気ガスを通すと臭いがとれるという事は周知のとおりである。土壤中には常に水分が含まれ、これらに臭気成分（水蒸気と排気ガスの混合したもの）が凝縮して溶けるがこの場合、土壤の微粒子の表面積は大きいので表面に吸着される量も極めて多量である。これら脱臭作用が継続しておこなわれる理由は土壤中の硝化菌が吸着されたアンモニアを亜硝酸、硝酸にかえ、それらの塩が水にとけて溶脱すると考えられている。その証拠として高温処理した土（細菌が死滅した土）、嫌気状態におかれた心土（硝化菌が棲息しない土）等に排気ガスを通すと始めはアンモニアの除去率一〇〇%であったも除去率は逐次さがってしまふのに引かえ、硝化菌の多数棲息した畑表土では除去率一〇〇%を継続するといわれている。

(1) 土壤の種類

土壤粒子はアンモニアのように正に荷電したものをまわりに多量に吸着する。この能力の大きい土壤は脱臭のために好都合である。したがって、脱臭のためには硝化菌が多数棲息する土壤を使用することがのぞましく水田の土壤や心土などは不向きで、畑表土とくに熟畑の表土が有効である。



一般に硝化能力が高いといわれている火山灰土壤のほうが非火山灰土壤よりのぞましいと考えられている。

(2) 土壤の温度

硝化菌などは土壤温度が六〇℃以上さらされると死滅すると考えられているから、土壤の温度がこれ以上になるのは禁物である。

土壤の硝化能力がもつとも活発なのは二五〜三〇℃といわれている。しかし、渡辺らの試験では土壤温度が五〇℃くらいで活動力が旺盛な菌種と、殆んど硝化能力を示さない菌種とが存在すると報告している。したがって、乾燥機からの排気ガス温度は一〇〇〜一五〇℃の高温であるため、五〇℃程度に冷却する装置が必要である。

この場合のアンモニア排出量が八、〇〇〇PPMであれば水洗冷却によって三、〇〇〇〜四、〇〇〇PPMになる。このことは、冷却用に使った排水中には高濃度のアンモニアが排出されることになる。なお、このガス冷却に要する水量は一万羽用乾燥機毎時燃料消費量一〇tでは、毎時五〇〇〜八〇〇t程度である。

(3) 土層の量とガスの量

土壤の量が多いことは（土層の厚さ五〇cm以下）さきのにべた土壤への吸着能力と硝化能力を高めるから脱臭効果を上げるのに役立つ。

ガスの量に対しての土壤の量については、乾燥機の処理能力によって異なるが、一万羽用乾燥機では三三〜五〇mを確保すれば土壤への吸着や硝化は十分になされることとされている。

渡辺らの試験によれば、土層脱臭装置のガスの通過速度は毎秒五mm、土壤の積厚さが五〇cmであれば、ガスの土壤との接触時間は一〇〇秒となりアンモニア臭が全くなくなるとし、接触時間三〇秒でも十分な脱臭効果があると報告している。

したがって、土層脱臭装置としての必要面積は、使用する乾燥機の燃料消費量が毎時一〇t（一万羽用乾燥機）のものであれば三三m以上あれば十分である。

(4) 排気ガス中の酸素と炭酸ガス

アンモニアは土粒に付着する硝化菌に酸素を必要とする。一般に火力乾燥機では、重油の燃焼に必要な空気が多量に送り込まれ、土中には常に好気的条件下により硝化菌が活動するのに好適な場となる。

なお、硝化菌のはたらくは炭酸ガスによって助長されるが、火力乾燥機では重油の燃焼により炭酸ガスが多く含まれた気体を送り込むので、硝化作用をいっそう高めることになる。

(5) 土壤の空気抵抗と排気ガス量

土壤中に排気ガスを通すためには圧力を高くして送り込み、もし、土壤の空気抵抗が非常に大きいときには排気ガスの圧力をそれに応じて高くする必要がある。この場合の送風機馬力は一、〇〇〇羽用乾燥機で16PS、五、〇〇〇羽用乾燥機で14PS、一〇、〇〇〇〜二〇、〇〇〇羽用で1PSの送風機を取り付ければよい。

また、土壤の種類によっても空気抵抗が異なり、粘土質土壤では大きく、堆積の厚さによって抵抗は変化し、ほぼその厚さに比例する。

したがって、堆積密度は土壤をふみつけた場合、雨や雪が降って水分が多くなった場合も同様に抵抗が高くなるので、このような時は表土を耕やすとか、あるいは土層底部に排水溝をもうけるのがよい。雨や雪に対しては簡単なビニール被覆などで、その影響を未然に防ぐ対策が必要である。

なお、土層脱臭装置の設置後しばらくするとタール様物質が土壤に付着し目ざまりを起したり、また、ダクトと冷却装置にタールおよび塵埃が付着してダクト面積が狭小となり抵抗が高くなるので、設計段階において集塵装置の設置およびダクトと冷却装置が簡単に取りはずせ掃除が容易にできるように設計しておく必要がある。

おわりに

なお、長期間使用していると、土層表面が硬くしまりタール様物質が土壤に付着して目ざまりを起し脱臭効果が低下するので、前記した諸要点について考慮するならば、土壤の入れかえの必要もなく相当長期間継続して使用できる。

和牛試験場

屋外飼育による

肉牛肥育の現状と問題点

研究員 黒田 昭 昌

一、まえがき

日本のフィードロット方式として、一區画二〇頭くらいを目標とした屋外飼育による肉牛肥育が試験にとりあげられたのは昭和四十一年頃からで、京都大学農学部上坂教授を中心として近畿、東海各県の種畜場、畜産試験場が「和牛若令肥育の管理方式に関する研究」として「戸外飼育方式の検討」をとりあげた。そして無畜舎による若令肥育の屋外飼育が可能であることが立証された。

二、屋外飼育における施設

屋外飼育はその字句のとおり無畜舎で最小限の飼養施設、すなわち給飼場、飲水場、牧柵等で肥育を行なおうとするも

ので、そのためにもっとも発育のよい若令去勢牛が前提条件になる。上坂教授によれば一応一區画の牧容頭数は二〇頭としている。これは今の日本では群飼育で一人の観察能力は二〇頭くらいが限度であることが前提のようである。

さらに一頭当りの所要面積は運動量と肥えい性を考察して一六・五㎡(五坪)とされているが、一〇㎡(約三坪)でもさしつかえないといわれている。したがって二〇頭を収容する面積は二〇〇㎡(一〇×二〇㎡)〜三三〇㎡(約一八㎡平方)くらいである。

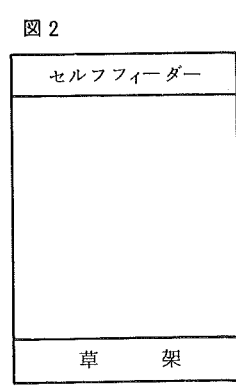
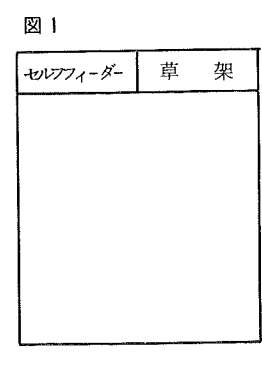
これを牧柵で囲みさらに濃厚飼料給与のためのセルフフィーダー(自動給餌器)草架および飲水施設を附設するわけであるが、肥育の後期が冬の積雪期と一緒になったこともあり、泥沼化が甚だしく、そのため一五度の傾斜地は平坦となり試験牛は横臥も困難となり増体の不振がみられたと報告している。

そこでこれらの汚泥化の対策として次の点を考慮して設計したい。

(一)、比較的少頭数で土地条件が許されれば泥沼化の直前に場所をかえて移動式にして行くことも考えられる。

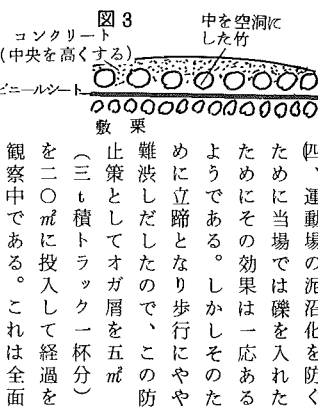
(二)、固定式にするとなれば常に牛が占位するセルフフィーダー、草架等の周辺は少なくともコンクリートもしくは枕木等を利用して泥沼化を防ぐとともに、別に一、二、四㎡程度に小高い土盛りをして休息場を作る必要がある。

(三)、雨雪の防止のためセルフフィーダー、



草架はもちろん採食場には牛がぬれないことと防暑の意味で簡易な屋根を設けることが増体に効果があるといわれている。

当場では採食場の前を二〇㎡(二×一〇㎡)のコンクリートとし、これらの施設とともに四〇㎡(四×一〇㎡)の屋根をつけている。



四、運動場の泥沼化を防ぐために当場では礫を入れたためにその効果は一応あるようである。しかしそのために立踏となり歩行にやや難渋したので、この防止策としてオガ屑を五㎡(三も積トラック一杯分)を二〇㎡に投入して経過を観察中である。これは全面

コンクリートにした場合も同様で、大分県畜産試験場ではパドック内を全面コンクリート(一部露地)にして、その上にさらに土を入れることによって立踏を防いでいる。なおコンクリートは夏は暑く冬は冷えるので問題がある。コンクリートをどうしてもとり入れる場合、冷気を防ぐ意味で図三のようなデンマーク式の床がよいと思われる。

(五)、泥沼化を防止する意味で傾斜地を利用する程度防止できるが、ある勾配がきついとエネルギーの消耗のため増体がにぶる。

(六)、その他冬季においては簡単な風よけ牧柵を利用して古ムシロ、古麻袋など

がおおろがが増体に効果がある。

三、屋外飼育における飼養

省力というたて前から濃厚飼料はセルフフィーダーにより飽食させるが、濃厚飼料のみの飽食ではたべずぎるといふきらいがあり、とくに地低い型の牛は発育がにぶりコンパクトになり勝ちとする。したがって濃厚飼料は当初できるだけおさえ、良質の粗飼料をたべさせる必要がある。このため濃厚飼料に一〇%程度の切りわらを加えて濃厚飼料の食い込みを制限する。この場合当場での濃厚飼料摂取量はだいたい一日平均八kg前後であった。

しかしこの場合は理想肥育のような、長期で体重六〇〇kg以上をねらう場合は前述の調整が必要であるが、四五〇kgくらいで出荷するならば、ごく初期に下痢を防止する意味で稲わらを少量まぜる程度でよいと考えられる。

県内の肥育農家では濃厚飼料はDCP一〇・五%、TDN七三・五%の肉牛用の配合飼料に同程度の乳牛雄子牛肥育用の配合飼料(後期用)をまぜて与えているのが普通である。これは当場で使用している和牛産肉能力検定第二期用(DCP一〇・四%、TDN七二・七%)とあまり変らないようである。

これに粗飼料として稲わらが主体とな

四、屋外飼育における発生しやすい疾病

濃厚飼料を飽食させると尿石症が発生しやすいようである。このために陰毛の白色化を発見することが一番である。予防対策としては、前記徴候の程度により塩化アンモン製剤を濃厚飼料にまぜて時々まぜること。できうればビタミンA剤をだいたい一日二万単位の分量で一月に一回のませたい。カルシウム剤は濃厚飼料に混与されていない場合錠塩とは別に炭カルを与えることが必要で、別に炭カルを与えたと濃厚飼料の摂取量

が多頭化の可能性がある。したがって、今後は群飼育の観察能力をたかめたエキスパートによって肥育をなされなければならない。上坂教授の談によれば、アメリカのカウボーイは六〇頭を一度に観察するという。今後日本においても二〇頭くらいは一度に観察して牛個体の異常を発見する能力を要請され、このことよって屋外飼育による肉牛肥育の多頭化がスムーズに行くことを期待したい。

るが、当場ではセルフフィーダーと草架を図一のように並列させているが、牛をある程度運動させるという意味から管理作業に若干の難点はあるが、図二の如く分離させるということも一工夫であろう。例えば多頭化して青刈飼料、牧草等の圃場との距離と位置により草架の設置場所が変りうると考えられる。

屋外飼育における一番の問題点は、とくに中国山地に多い黒ボク土壌ではパドック内がすぐに汚泥化しやすいことで、またこれが糞尿公害にむすびついてくる。ちなみに兵庫県畜産試験場で行った試験では一頭当り一四・六㎡で一五度の傾斜地を利用して三―五日間の屋外飼育を行ったが、肥育の後期が冬の積雪期と一緒になったこともあり、泥沼化が甚だしく、そのため一五度の傾斜地は平坦となり試験牛は横臥も困難となり増体の不振がみられたと報告している。

そこでこれらの汚泥化の対策として次の点を考慮して設計したい。

屋外飼育による肉牛肥育の問題点をのべたが、設備投資を最小限にして十分肥育が可能であることは立証されたが、パドック内の泥沼化が一番大きな課題である。しかし、これが山地開発を指向している面からは歓迎すべきことで、また多頭化の可能性は十分ある。

したがって、今後は群飼育の観察能力をたかめたエキスパートによって肥育をなされなければならない。上坂教授の談によれば、アメリカのカウボーイは六〇頭を一度に観察するという。今後日本においても二〇頭くらいは一度に観察して牛個体の異常を発見する能力を要請され、このことよって屋外飼育による肉牛肥育の多頭化がスムーズに行くことを期待したい。

るが、当場ではセルフフィーダーと草架を図一のように並列させているが、牛をある程度運動させるという意味から管理作業に若干の難点はあるが、図二の如く分離させるということも一工夫であろう。例えば多頭化して青刈飼料、牧草等の圃場との距離と位置により草架の設置場所が変りうると考えられる。

屋外飼育における一番の問題点は、とくに中国山地に多い黒ボク土壌ではパドック内がすぐに汚泥化しやすいことで、またこれが糞尿公害にむすびついてくる。ちなみに兵庫県畜産試験場で行った試験では一頭当り一四・六㎡で一五度の傾斜地を利用して三―五日間の屋外飼育を行ったが、肥育の後期が冬の積雪期と一緒になったこともあり、泥沼化が甚だしく、そのため一五度の傾斜地は平坦となり試験牛は横臥も困難となり増体の不振がみられたと報告している。

そこでこれらの汚泥化の対策として次の点を考慮して設計したい。

第九回岡山県枝肉(肉牛の部) 共進会の成績

技師片寄功

一、生体の概要

第九回岡山県枝肉共進会が去る昭和十五年十二月十六日から十八日までの三日間、岡山県営食肉市場において開催されましたが、そのうち肉牛の部についてその成績の概要を述べてみたいと思います。

今回の出品牛の総点数は五〇点で、すべて去勢牛であり、うち若令肥育区一点(生後月令八ヶ月未満)、理想肥育区四九点(生後月令一八ヶ月以上)で、これを地区別にみますと、岡山地区六六、和気地区一〇点、倉敷地区一〇点、笠岡地区九点、高梁地区一点、新見地区二点、津山地区一点、美作地区一点、の出品がありました。

肉牛生産の位置づけとして、生体の主要部位について、前回同様体測定をおこなって見ましたが、その結果を区別の平均値で示すと一表のとおりです。また、実測平均値を去勢牛の発育標準に照らしてみますと、体高はC級、胸囲はB級、胸深、腰角巾はA級の発育状況を示しました。なお、体重は測定が、と殺直前であったために理想肥育区の平均が六〇五kgと目標体重には今一步というところでした。しかし、体型的には肉牛としての体型を具え、例年になく斉一化された素晴しいものが多数出品されました。

1表 体主要部の平均測定数値

区別	単位(Kgまたはcm)					
	体高	胸深	胸囲	腰角巾	腹巾	体重
若令肥育区	122.0	71.0	203.0	52.0	50.5	530
理想肥育区	129.2	75.1	212.9	52.7	51.1	605.1

註()内数字は体高に対する比率(%)を示す。

なかでも改良の重点である背腰、後軀などは一般に良好であり、素牛選定に留意されたところがうかがわれました。反面、線のゆるいもの、背幅の不足するもの、斜尻および骨じまりのよくないものが見うけられました。また、今回は肥育度(背囲×100)を調査してみました。若令肥育区四三、理想肥育区四三、理想肥育区四六八で、一般に適当だとされている四七〇〜五〇〇よりも低いものが多く、仕切り状態と出荷時期について今少し検討を要するよう思われました。

二、枝肉の概要

次に、区別の平均生後日令と日令体重をみますと、若令肥育区が五一四日と、一・〇三kg、理想肥育区が、七〇三・二日と一・八七kgで理想肥育区においては、前年よりも日令体重において一・一〇kgと短かくなっていました。

2表 発育評価表

部位	評点		
	A級	B級	C級
体高	8頭	16頭	26頭
胸深	43	5	2
胸囲	25	14	11
腰角巾	43	4	3
腹総	41	5	4
合	15	33	2

一方、各牛の測定数値を月令に合せて、発育標準により、その発育状態を評価してみますと二表のようになり、とくに後軀に比較して体高と前軀(とくに巾)の発育がやや劣っていたようです。

次に、枝肉の審査成績は三表に示すとおりでしたが、一般には枝肉の均称よく肉付も概ね均等で、脂肪の附着も十分でありました。また、ロース芯の大きさもだいたいよかったですように思われましたが、脂肪交雑の点では今一步というところで、脂肪の色沢、質などはよかったですように思

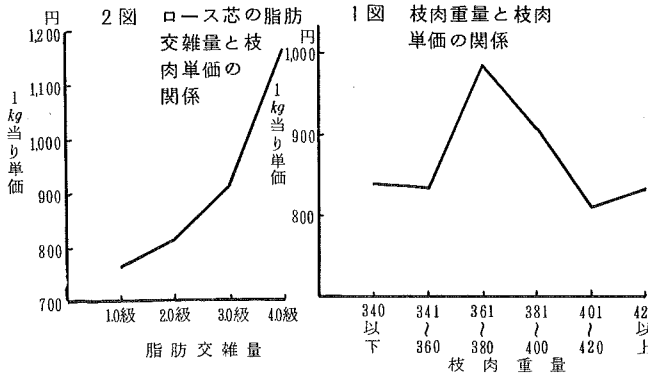
3表 枝肉の成績(区別、級別頭数)

区別	級別	単位(頭)							
		均称	肉付	脂肪の着	ロース芯の脂肪交雑	肉の色	肉のきまり	脂肪の色	脂肪の質
若令肥育区	A級	1	1	1	1以上	1	1	1	1
	B級				11~11				
	C級				11以上				
理想肥育区	A級	45	44	36	1以上	47	44	42	42
	B級	4	5	13	11~11	2	5	7	7
	C級				11以下				

われました。これを区別にみますと、若令肥育区はロース芯の脂肪交雑がC級であった他は総てA級でありました。一方、理想肥育区は、ロース芯の脂肪交雑を除いては、その大半が総てA級でありましたが、ロース芯の脂肪交雑はA級が二〇点、B級が一九点、C級が一〇点でありました。また、肥育度を過度に高めたために、脂肪交雑が少ないもので、皮下脂肪の附着の過多なもの、脂肪の軟

三、枝肉単価と枝肉の大きさ、ロース芯の脂肪交雑との関係

枝肉の価格は、需要と供給、消費の動向等により影響されますが、今回の枝肉単価について、枝肉重量およびロース芯



の脂肪交雑との関係をみますと一・二図のとおりで、枝肉の重量では三六〇kgから四〇〇kg程度のものが多く、また、ロース芯の脂肪交雑が多くなるに従って高くなっており、とくに、脂肪交雑が三・〇(卅)以上になりますと枝肉単価に大きな影響がみられ、肥育牛の場合にはその重要性がうかがわれます。

四、肥育度

肉牛の審査標準の項目のなかに、肥育状態というのがありますが、これはどのぐらい肥っているか、どのような肥育度の状態のときに出荷するのが適当であるかという判定はなかなか難しく、その牛個体の特性なり出荷時期、経済問題と関連をもちながら決定されるものと思えます。この点を簡単な指標によって示す方法が、この肥育度指数なのです。肥育度指数というのは、肉牛の体重を体高で割って一〇〇倍したもの、いかにすれば、肉牛の体高一〇〇としてみた牛の体重であります。即ち、 $\frac{\text{背囲} \times 100}{\text{体高}}$ ということになり、しかし、この肥育度指数が牛の肥育状態のすべてを示すものではありませんが、だいたいの指標になると思えます。この肥育度指数が五〇前後ですと適当な肥育状態といえますが、五五〇以上では過肥、四七〇以下ではまだ肥育がやや不足している状態といえそうです。

断熱が簡単に!!

ウチヤマ

スラスラフォーム

家畜の管理は断熱から...内山は断熱材メーカーです

発泡スチロールの断熱材で、軽くて、きれいに簡単に施工出来ます。畜舎などの断熱のことならお気軽にご相談下さい。設計・施工もいたします。

内山互業株式会社 岡山・大阪・茅ヶ崎

本社 / 〒702 岡山市江並 338 Tel 0862-77-7131

酪農試験場だより

畜産目的のための

SPF豚実用化

養豚部技師 末長 譲

近年、養豚の経営は規模の拡大に伴って、その生産性は著しく向上してきています。一方では多頭化によってうける疾病の被害が重大な問題となつています。これらの疾病の中で法定伝染病として養豚家に最も恐れられていた豚コレラ、豚丹毒はすでに優れたワクチンが開発され比較的の問題が少なくなつてきましたが、そのためにこれらの疾病が蔓延している。萎縮性鼻炎（AR）、流行性肺炎（SEP）等は予防治療法はもちろんのこと生体における適確な診断法も確立されてい

ないもので、ひとたび養豚場内にこの疾病が侵入するとその浄化が不可能とされているものだけに、非常にやっかいなものとされています。更に、最近では豚赤痢の発生が各地に見られるようになり、トキソプラズマ病、伝染性胃腸炎（TGE）、豚の日本脳炎、子豚の大腸菌症、豚のコロナバクテリウム症、豚の寄生虫病、豚の皮膚病などとも多発疾病として養豚経営に大きな影響を与えています。

特に豚の移動のほげしいわが国では、そのためにこれらの疾病が蔓延している。このことはみのがせない事実でありまして、これらの疾病を養豚場から完全に追放して浄化するということは、これまでの技術的手段ではきわめて困難とされており、今後養豚の生産性を高めるためには衛生対策がもっとも重要な課題であることは言うにおよびません。

近年、欧米各国ではこのような疾病が全く存在しない豚を作り出し、これらの豚相互間の交配によって閉鎖的な豚群を作り、これを拡大してゆくころみが行なわれており、豚病防除の立場から大きな効果をあげています。

これらの豚群がSPF豚と呼ばれているものですが、このSPF豚について簡単な説明をすることにします。

SPF豚とは Specific Pathogen Free

の略で、つまり特定病原不在豚という意味です。たとえば、ここに一頭の豚がおり、この豚に指定されたいくつかの病原が全くないということが明らかになれば、この豚はSPF豚ということができます。SPF豚の生みの親であるアメリカのネブラスカ大学のヤング博士は「SPF豚とは、妊娠末期の健康な母豚から、子宮切開または帝王切開によって胎児を無菌的に取り出し、これを規制された環境中の特殊な無菌哺育箱の中で、無菌人工乳によって飼育し、この間に死物寄生菌と徐々に出会い、これらに対する抵抗力を獲得したものをいう。」と明確に定義しています。

したがって、SPF豚は無菌豚（Germ Free）—現在の技術で検出可能なすべての微生物がないものをさす—とは違いますが、特別な品種でもありません。即

ち、ある特定の状態を指しているものですからどの品種の豚でもSPF化する事が可能なのです。

現在、SPF豚の利用分野は、(1)基礎研究（主として豚の疾病、感染の解明）、(2)畜産目的（多頭飼養の際の集団変換）、(3)研究材料（組織培養に用いる豚腎細胞の供給）などでありますが、畜産目的へ応用するためには次のような段階が必要とされています。

即ち、母豚から子宮切開によって無菌的に取り出され飼育された豚を第一次SPF豚（Primary SPF豚）といいますが、この第一次SPF豚を清浄なSPF飼育場に移し、ここでSPF豚相互の交配によって生産された第二次SPF豚

（Secondary SPF豚）を多数作り出して、これらの豚群によって従来の豚群を駆逐する（これを豚集団変換計画という）ことをSPF豚の畜産への応用といっています。

この場合、これらの豚がSPFの状態を維持するためには、一定の決められた管理規制（養豚場を外部から完全にシャ断して各種病原菌を場内に持ち込まないようにするため、例えば、出入口を一カ所にしてシャワー室を設けるなどで、施設構造、人、物などについて特定の管理規制を加えている。）に基づいて飼養管理することのほか、ワクチンの接種、定期あるいは必要に応じての微生物検定をしなければなりません。

米国の幾多の試験ではこれらのSPF豚群には厚脂がないこと、また、従来の豚に比較して肥育豚を一カ月以上も早く出荷できること、さらに、出産子豚の育成率が良いことなどのすばらしい成績が得られています。

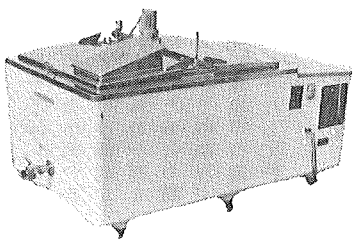
このように、SPF豚に関する技術はアメリカで開発されたものですが、わが国では農林省家畜衛生試験場の波岡博士によって導入紹介されたもので、家畜衛生試験では昭和三十九年度からSPF豚生産のための施設が建設されるとともに、SPF豚の研究班が組織され試験研究に使用するSPF豚の作出を中心に研究が進められてきました。



SPF豚はSPF動物輸送車で輸送される

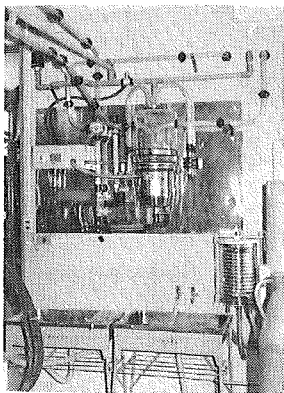
共に前進！技術のオリオン

パイプミルカー

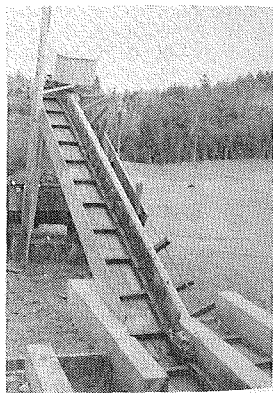


米国3A衛生規格をはるかに上回る高性能アイスバンク方式ですから非常に経済的しかも超高級樹脂F.R.P樹脂を採用しておりますので断熱効果が抜群、絶対錆びません。

パイプミルカー バーンクリナー



他に類のない特許の自動洗浄装置 多量の水とスポンジが循環し、パイプ内は常に衛生的、操作も簡単でオリオン独特のアイデアがここにも生かされています。



省力化に大いに貢献する自動糞出機 錆びないエレベーター、安全装置のローラーピン、耐久力のすぐれたチェーンなど数々の特長を持っております。



オリオン機械株式会社

本社・工場 長野県須坂市大字幸高246 TEL(5)1230
営業部 東京都渋谷区代々木1-37-20 TEL(379)4156
岡山出張所 岡山市柳町1-1-17小六農機内 TEL(24)0300

営業品目	ミルカー	ウォーターカップ
	ユニットクラー	スタンション
	デンサク	電動攪拌機

株式会社小六農機 岡山市福成岡山機工センター TEL 63-1221(代)

肥育牛に多発している尿結石症を治療・予防しましょう

固型カウストーン

乳質改善 乳量増加に
毎日 飼 塩 をあたえましょう



日本全薬工業株式会社

部 山 市 昭 和 1 丁 目 15 - 23
TEL (2) 5 1 1 5

日本全薬工業(株)岡山支店

岡山県津山市井口25卸センター内
TEL (2) 9 2 5 1



ところで、わが国における慢性伝染病の浸潤度等について少しくわしく調べてみますと、これらの疾病が輸入豚とともに欧米から侵入してきたことは疑う余地はありませんが、すでにSEFは八〇%、ARは五〇%以上の豚に浸潤しているといわれています。本県では、昭和四十四年一月、県酪農試験場が行なったARの実態調査の結果からも四三・四%という浸潤状況が確認されており、同時に岡山家畜保健衛生所が行なったSEFの実態調査では七〇%というきわめて高率な浸潤結果がでています。また、肥育豚の飼料要求率についても二、四年前までは平均三・七といわれていましたが、ここ二、三年の間に三・九、四・〇になっているといわれ、はなはだしい養豚場では四・二以上のところも珍らしくないという結果が出ています。

このような状況の下では、如何に改良された優秀な豚に理想的な飼料を与えたとしても、その優位性は全く失われていくわけです。今後、少なくとも一〇年間はこのほかの多発疾病による生産障害を考えてみると、これらの豚をSEF化するなどの必要性が当然生まれてくるわけ

昭和四十四年度からは、農林省家畜衛生試験場の指導によって、岡山、千葉、新潟の各県に先がけて畜産目的のためのSEF豚実用化試験に着手していますが、一部民間企業の間ではすでにSEF豚の農場を開設しているところもあ

ります。県酪農試験場では現在、ランドレース、大ヨークシャーの原種豚と生産子豚をあわせて三五頭のSEF豚を飼養して、すが、年度計画に従って今後はハンブシャーを導入して試験研究の充実強化をはかることにしています。実用化の試験に

表1 試験研究構成

第2次SPF豚の育成成績調査	44~46
第2次SPF豚の繁殖成績調査	45~46
第2次SPF豚の産肉能力検定	45~46
SPF豚の耐用化試験	44~46
第2次SPF豚の疾病調査	44~46
第2次SPF豚の微生物検定と病性鑑定	44~46
SPF豚による交雑試験	46~48
SPF豚の飼養標準設定に関する試験	46~48

※ 家畜衛生を中心に千葉、新潟との共同研究

ついてはSecondary SPF₁・2について、養育、繁殖、産肉成績と微生物、疾病の検定を実施してSEF豚の性能判定と飼養管理技術を究明、生産豚の一部を肉豚として一般農家で飼養した場合の耐病性についても検討しますが、昭和四十六年度からはSEF豚の飼養標準の設定、交雑試験等にも着手することになっています。

昭和四十六年度には場内を完全にSEF豚に変換し、県内へSEF豚を安定的に供給する体制を整備する方針ですが、一日も早く客観的、科学的データを積みあげて普及に結びつけたいと思つて

岡山県畜産会より
岡山県畜産コンサル会
酪農部会員の皆様へ

毎日経営改善にはげんでおられることと思います。
本誌の裏表紙に広告の出でおります「乳牛の改良」「乳牛飼養の基礎知識と疾病予防について」は、いずれも単価三五〇円でありましたが、コンサル会員の皆様には三〇〇円で頒布いたします。せいぜいご利用下さるようお願いいたします。なお、送料は一部五〇円いただきます。
これからの酪農経営は、増頭にあわせて一頭一頭の能力の向上がポイントとなりますので、自分の飼養している乳牛の系統を調べ、それにあった適当な交配をしていくことが大切です。そして、優秀な牛に最大の能力を発揮させるためには日常の飼養管理の巧拙が大きな決め手となることはいままでもありません。多頭化になればますますこのことは重要で

それにはぜひ「乳牛の改良」「乳牛飼養の基礎知識と疾病予防について」で研究下さい。

酪農試験場だより

体力低下とケトーシス

技師 小福田 満郎

この病気は分娩後数日から二、三週のうちには発生する代謝性の病気で、低血糖、ケトン体血、アセトン体尿、食欲欠乏、体重の減少、泌乳量の低下、運動失調が現われるのが特徴である。発生は舎飼の牛におおく、高泌乳量の牛がかかりやすい。

(一) ケトーシスの病因

なんらかの原因で炭水化物と脂質の代謝が異常になって、体内のケトン体が増量蓄積し、そのために病的な症状をあらわした状態をケトーシスといっているが、日

最高泌乳期の前後に発病しやすいことがこれをうらづけている。妊娠、分娩などによって、疲労した母体は、分娩後過剰搾乳のストレスが加わるために、泌乳量に平行して糖や糖の前駆物質が多量に乳汁中に分泌されるために、ホルモンの機能不全がおきやすいためである。
さらに、冬季から初春にかけて最も多発していることは、季節との関係が考えられる。この季節は寒さによる体力の消耗、運動不足、良質牧草の不足、質のよくないサイレージの多給などが要因と考えられている。

(二) ケトーシスの病状

乳量の急減、アセトン血症、低血糖は、ケトーシスの主要症状であるが、ケトーシスには臨床上、三つの型がある。

① 消化器型

分娩後二週間以内の発病が多く、栄養のよい乳量の多い乳牛に認める病型である。発病は急激または徐々に、食欲減損し、乳量は激減する。便秘(まれに下痢)歩様せうろう、倒れやすく、起立不能に陥る。意識には著変ないが、全身痙攣を発し、または興奮し、だんだんに痩せる。原則的に無熱であるが、まれには高熱を示すものもある。

牛乳の20%増産の秘訣は
蚊・蠅のいない好環境から



DAIRY
酪農かとりせんこう

■本品はピレトリンだけを含有、問題になったDDT、BHC、ドリン等の塩素系薬剤は一切含んでおりません。従って牛の健康をそこなわず、しかも牛乳中にも毒性が検出されません。
お求めは所属の組合へ

豊年薬品商会
大阪市住吉区東加賀屋町3-5-2
電話 大阪 06 (671)5662(代表)
郵便番号 558

② 神経型

食欲は漸減するが、乳量は急減し、全身症状は急に悪化する。神経症状は特に顕著である。すなわち興奮し不安となり、ときどき舌を動かし、流涎、眼球しんとし、頸背部の諸筋は痙攣し、円運動を営み、事物によりかかると。

③ 乳熱型

乳熱の症状に類似し、または乳熱と併発する。
本型も神経症状が顕著である。乳量および体重の急減、食欲の不振、筋肉の無力が明かである。
以上三型中、消耗器型と神経型の発生が多い。

④ ケトーシスの診断

診断の要点は臨床症状の特徴をつかみ、次いで血液、尿、乳汁中のケトン体を検出して健康牛と比較することである。
健康な牛の体内では、微量ではあるが、ケトン体が生成されている。しかし、これらのケトン体は主としてアセト酢酸であるから、筋肉内で容易に酸化されて、エネルギーとして利用されるために、ケトーシスの症状は現わさない。
ケトーシスの診断は、血中ケトン体の

検出を原則としているが、一般に尿中ケトン体の検出を行なっている。尿中ケトン体の検出は簡易アセトン体定量試薬(シノーテラスト三号)により、野外においても容易に実施ができる。

⑤ ケトーシスの予防

ケトーシスは治療するよりも、予防することが必要な病気である。牛のケトーシスは、飼養管理を改善することによってなれる場合が多い。発生をみた場合、飼養管理の状態をよく検討して、発生要因を改善しないと、薬物療法だけにたよると、一見治癒しても再発しやすい。
良質の牧草給与が不足し、発酵の悪いサイレージや濃厚飼料の過給する場合、また可溶性炭水化物と可溶性脂肪の比率が高い場合にケトーシスが発生する。したがって、飼料給与を改善することによって、発生が予防できる場合が多い。
妊娠牛は胎児が生長するにつれて、給与飼料が不足したり、栄養成分の配分が適正でないと、分娩や泌乳によるストレスなどによって、本症発生の要因となることがある。したがって、妊娠末期の牛、泌乳牛には栄養の不均衡が生じないように、その状態に応じて適正に飼料を給与することが必要である。また、環境条件のさまざまな変化にきわめて敏感で、とくに冬

は寒さを防ぐこと、本症予防のための最大の敵は、寒さと蛋白の過不足である。適当な運動で脂肪太りを防ぐこと、事情の許さないときには、運動の代りに、皮膚のマッサージを励行することも、ケトン体を早く体外に押し出す方法として適当である。また、肝臓はケトン体を消す大切な道具であり、肝臓は一年に二回くらいは駆虫することが必要である。

⑥ ケトーシスの治療



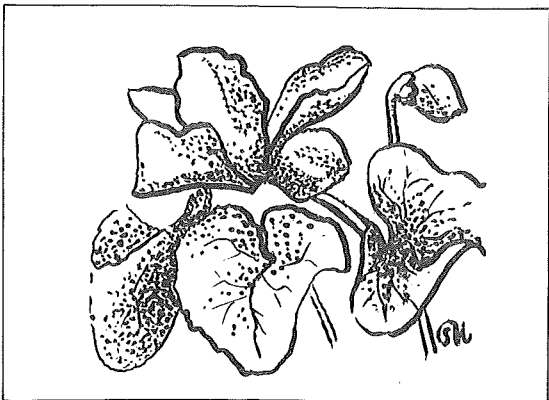
ケトーシスにおいては血中のケトン量増加に反比例して血糖量の低下を来すが、逆に血糖量を増加させるとケトン量が減少する。したがって牛ならば、五〇%ブドウ糖液五〇〇〇の静注を一日二回五〜七日間連用すると軽症ならば治癒する。ただし慢性および重症では一時的効果しかない。

⑦ オキサロ酢酸およびその前駆体の注射

ブドウ糖注射と同一原理である。オキサロ酢酸の前駆体としては、リンゴ酸、コハク酸、アスパラギン酸などの注射も有効である。

⑧ ホルモン療法

副腎皮質ホルモンの分泌が異常となり糖質や脂質の代謝異常をおこした結果ケトーシスにかかったとみられるものについては、向副腎皮質刺激ホルモンを用いることによって、副腎皮質を刺激してコルチコイドの産生を高めることが必要である。なおこれらの治療に併行して良質の牧草とカルシウムとを与え、出来うれば放牧し軽度の運動をさせる。なお、不良発酵したエンシレージの過給は禁ずべきである。



⑨ ブドウ糖の静脈内注射

世界の酪農界で大反響！
乳牛の健康を守る QMシステム

Coupet
カウペット ライン ミルカー

原乳冷却と貯蔵のきめて
クイック・クーリング・システム

バルククーラー

—アイスバンク方式—
冷却効率がきわめて高く、すでに各地の公式テストでも記録的な好成績を納め、その性能が実証されております。操作はすべて自動式冷却、貯蔵、集乳作業の省力にもいちじるしい効果を發揮します。
(540ℓ・1080ℓ・1800ℓ)

〈カタログ進呈〉

株式会社 梅沢製作所 代理店 株式会社 藤井酪農器商会

本社工場 東京都江戸川区松江2-15-9 電話(652)7511代
群馬工場 群馬県甘楽郡甘楽町916 電話(2)3141代
営業所出張所 札幌・帯広・盛岡・熊本・宮崎・岡山・半田・豊富・浜頓別

岡山市春日町4番13号
郵便番号 700 電話 (24) 3268 (代)

EDO

高圧スラリーポンプ
大型スプリングクラー
(水洗式糞尿散布装置)
設計・施行

真備町 布引牧場(下)

メーカー 中央機器製作所
TEL 24-3268
藤井酪農器商会
岡山市春日町4-13

亥
 の年という何んとなく猪突猛進をしてみたくなるような、またせねばならないようなムードがおきるから不思議である。しかし、その亥年も二ヶ月が過ぎようとして、いささか色あせてきた感じのこの頃、三日坊主の日記もそろそろ白紙の頁が多くなりかけて、元旦の決意がうすらいでくる頃であろうか。このへんでもう一度、年頭の所感を振りかえって鈍る初心に鞭打つことも必要であろう。

大日本百科事典によると猪は、単に「しし」ともいい、「しし」は食用の獣類を総称した語で、穴の字をあてる、日本書記に猪の字が初めて見出されている。と記してあったからかなり古くから人間とつきあいのあった動物であったことが分る。昔話の猪は、田に水を入れることを手伝ってその家の娘の婿になるという、いわゆる「猪婿入り」であったというが、信仰的要素は少なく食用的な価値の方が重要であったと、古辞には記してあった。その繁殖力と生活力が旺盛で減らないところから、西洋でも猪肉は人間に力と勇気を与えるとされ、古くからその頭は重宝がられて飾り物にされ、それにちなんだお祭りが今も各地に残っている、という。

豚
 は猪を改良して家畜化したものであるが、分類して、やや凶暴性のある大柄の黒い色をしたインド系と、いわゆる白色のヨーロッパ系に分けられ、凶暴性はだんだんに改良されて今日に至り、牛肉に代る食肉のチャンピオンとして、我々の食卓に親しまれるようになったのである。乳、肉、卵の畜産物生産のうち、肉牛、肉豚、肉鶏が他の畜産物より、今年の問題を多く提供してくれそうな気配を孕んでいるのは、亥年にちなんだ単なる語呂合わせだけではないのではなからうか。

猪は追いつめられると非常な力とスピードとで凶暴性を発揮するところから、猪突猛進なる語が生れてきたが、狩りなどで猪を捕獲しようとする時、同じ方法を用いると感ずかれて容易に近づくかないという。非常に慎重な性格があるからである。凶体はかくても神経質で用心深いところは鼠に似ているようでもある。表面、凶暴で突っばしる印象を抱かせている猪が、実質は慎重で賢明であるというのは面白いことである。みてくれにとらわれて、案外本質を見逃すことは我々がよく犯す錯覚であろう。

畜
 産が当面する問題として行き悩んでいるとすれば、それは病気であり、土地資源であり、公害問題であるかもしれない。解決をして経営を安

ウソの中のマト

未知己

定しようとした時、公害一つ取り上げても大変なことである。飼料代が値上りしただけで黒字経営が赤字経営に転落しかねない不安におびえる収益性の低さだという。この上に公害対策のための費用が加わるとは畜産は成り立たないかと嘆く人は多い。万が一、病気の侵入を受けて家畜を殺すことにでもなったらお手上げになるという。確かにそのとおりである。しかし、それだから畜産は尻すばみの一途をたどり、日本から牛も豚も鶏もいなくなるであろうかと極論をすれば、それはウソになる。ざりとて七〇年代に畜産の隆盛時代がきて、日本は畜産国になるとバラ色の夢をみて、それもウソになる。それではどっちのウソが本当なのだろうか。ウソに

ウソをかければ本当になる方則はないものか。メンデルもここまでは教えてくれなかった。確かに卵を食べることは、日本の消費者が乳、肉、を供給を海外に依存するには余りにも限られた限界があるということである。とすれば畜産は滅びつけないということになる。

最近、全般的にムード倒れの傾向が強い。公害だといえど、猫も杓子も公害公害、公害でないものでも公害に名を借りて経営者をノイローゼにしている例がみられる。鶏のマレックス氏病が育成率を下げていくなれば、手前の育すう技術のまづいのも見逃して錯覚のとりこにならなっている一つの現象ではなからうか。

畜産の未来を悲観するのは、消極的な諦観主義から脱けきれない者の敗北にながら道である。ウソとウソが交わる方則を見つけ出し、本當を作り出すことである。自分の影におびえていたり、みてくれのカッコよさに幻惑されて、本質を見逃がす錯覚にとらわれてはならないのであろう。

好
 むと好まざるとに拘らず、農業は、畜産は、この十年間に今までのない変化をもたらした。経営者の数は減り、規模は大きくなる。そして誰れかが去り、何人かが畜産に残り、国民の蛋白質の供給にたずさわり、国民需要の社会的責任を果たすことになるのである。

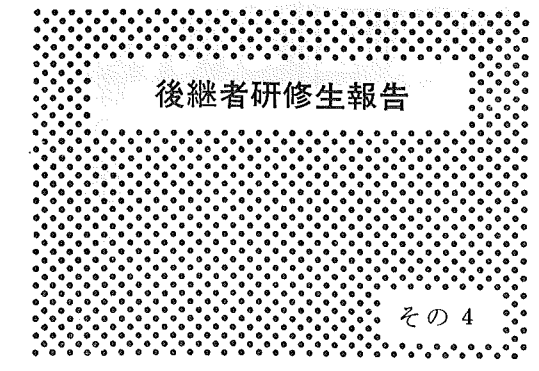
小林秀雄という人の文章にこんなのがあった。「人は、性格にあった事件にしか出合わない」

北海道の自然に抱かれて

北海道山越郡八雲町大新落合牧場内
 大木 秀 雄 (加陽町出身)

十一月月号報告より
 この一カ月間で日がずいぶん短くなってきた。それだけに仕事の量も減った。主な仕事としてデントコーンのサイロへの詰め込みを行った。

その 4



後継者研修生報告

研修生とはいったい何なのか、ふと思ふときがある。大人として扱われるなかで、自分のあまい考え方が頭を持ちあげてくる。仕事上のミスを通して、自分の真剣さが足りないからだと思ひ、もっと自覚しなければと思う。

サイロへの切り込み中目をけがしたが、一週間ばかりとても不便であった。そうしたなかで他人というものの冷たさを感じる。社会人として一人生きぬく強さが必要で、これも研修の目的の一つであったかとも思う。

酪農というものを体験から学びとることとは重要であるが、しかし、それだけでは満足できない。酪農への一つの道を、仕事を通して見つけなければただの労働者となってしまう。どこの受入農家でも同じであろうが、研修生として労働力として使わなければならないだろう。しかしこれから先あまり長くもないので、しっかり質問して、わからないことをはっきり

最後のたより

八雲の冬は特に雪の多いことで有名だそうである。今年の冬はそれでも比較的暖かいという話であるが、それでもマイナス五〜一〇℃の雪の中のワゴンによる堆肥散布、牧欄修理はともつらい思いであった。最初はどうなることかと思つた。特に堆肥の散布は私一人にまかせているので、年内に予定量だけはすませてしまわなくてはならないので苦労したが、予定より早目に終りやれやれであった。やろうと思えばやれるものだと自分でも感心している。

牛舎の仕事も朝五時半前に起きるようになったし、夏季に比べると仕事の量はすくなくなくなったが、風はチクタクと肌をさすように痛い。

雪の中で、屋敷もそこそこに一日中乾草の収穫におわれた夏の忙しかった頃がなつかしく思い出されてくる。

九ヶ月間の反省がいろいろ頭へ浮かんでくる。北海道の人々のこのような生活きざみこまれてきた。初めて迎えた北海道の正月に角モチのぞうにをいただき、思いも新たに今年も最後の一〇代を精一杯ばい過して岡山へ帰りたいと思っている。最後になりましたが、お世話になりました畜産会を初め皆様に厚くお礼申し上げます。

水田転作のホープ
マンモスイタリアンA
 ○青刈、サイレージ、乾草利用
 ○盛夏にも夏枯しない
 ○連続利用に耐える多収種

春まき牧草の決定版
 パイオニアソルゴ
 スイートソルゴ
 カラーダギニアグラス
 〈カタログ資料進呈〉

雪印種苗株式会社

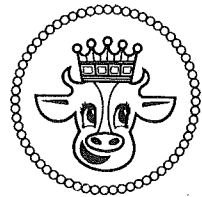
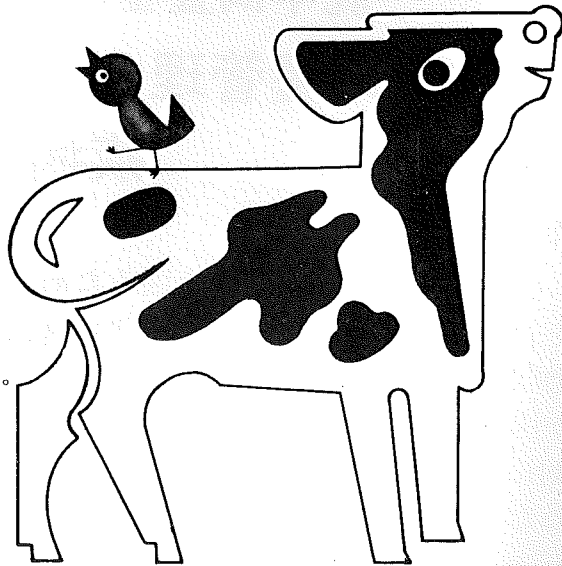
乳は国産 エサは全酪

団結は力！
系統利用は団結の象徴

最高の水準をゆく全酪連乳用子牛育成体系
(乳牛の飼料は専門の全酪連におまかせ下さい)

主要取扱品目

専管、増産ふすま。外国大麦飼料。
カーフトップ。脱粉飼料。カーフスターター。
幼牛用、搾乳用配合飼料。
その他酪農用飼料資材全般。
市乳、バター、チーズ、練乳、粉乳。



日夜酪農民の利益増進に奉仕する酪農専門農協！
全国酪農業協同組合連合会

本誌の予約申込要領

誌代 一部 五十円(送料共)
年間予約六百元(送料共)
但し一部購入の場合は増頁号の誌代をその都度の価格とし、年間予約者は増頁特集号の分も一部五十円のサービスマン価格とす。

集団申込の特典

十部以上を一括で年間予約する方は一部誌代を四十五円にします。百部以上を一括で年間予約する方は一部誌代を四十円に引きします。但しこの場合は一括購読です。個人別発送は致しません。

申込方法

同封の振替用紙に代金を添え住所氏名明記の上申込んで下さい。集団申込は代表者の名で何人分かを明記、誌代合計金額を払込んで下さい。但し申込みは前金を建前としております。

申込先

岡山市下石井二一六一四五
社団法人岡山県畜産会指導課
(電話)岡山①8575番
(口座番号)岡山八五七五番

岡山県畜産会保有 畜産映画招介

酪農

- 酪農経営の改善
- 乳牛のエサと栄養障害
- 山地酪農にいとむ
- 上手な牧草の作り方とその利用

肉用牛

- 牛の栄養と消化
- 肉用牛の生理と栄養

養鶏

- 成功する養鶏経営
- 養鶏経営の改善
- 鶏 生理と伝染病

衛生

- 放牧牛の衛生
- 牛・豚・鶏の衛生

貸出料 一回 一、〇〇〇円

申込先 岡山市下石井二一六一四五
社団法人 岡山県畜産会
TEL(〇八六二)
三二一八五七五

編集室から

この前新年を迎えたと思つたのにもう二月号をおとどけするようになった。今年には亥の年、猪突猛進でなく、チヨットズツ猛進の年、だと言う人がいる。思い込んだら命がけ、一直線につき進むと行きはまることもあるが、その点長期の計画見通しを持った上、時々の情勢の変化を考え、一寸ずつ猛進するのが誤りも少なく根拠も続くものと思ふ。最近の畜産界の情勢を見ると一部では農業への失望と他産業の所得攻勢に浮足立ってしまったのではないかとと思ふ。酪農では農林省案の酪農近代化方針で昭和五十二年の所得目標を二〇〇万円とされているが、その程度ならそう高い目標でもなく、自己の経営内容を良く知り、長期計画を立て、着実に「一寸ずつ猛進」してもらいたいと思ふ。

岡山畜産便り(二月号)

第二二巻 第二号 (通巻第二百二十一号)
昭和四十六年二月二十五日発行
発行所 岡山県畜産会
編集人 岡山市下石井二一六一四五
印刷所 岡山市丸の内二の五番
電話 〇八六二
定価 一部五十円(送料共)

豚の雄屋からの便り

静岡県榛原郡相良町中西中山家畜授精所内

水川 由喜生 (真備町出身)

八、九、十月報告より

これからはもう豚の雄屋だけではもうからないというところから、肉豚経営にも手を広げるため、裏山に分脱豚舎と肥育豚舎を建てました。しかし増頭と伴に持ち上ったのが糞尿の問題である。何んら対策がなされていなかったら問題が出るのは当然であった。

裏山の豚舎では一輪車で集めた糞を畑を野積みにしている。すぐ横に中学校があるので、汚物が生徒の目にふれ、悪臭がひどく生徒のためによくないとの苦情である。それに糞を除去した後圧力ポンプで水洗しているが、この汚水がすぐ下の小溝に入り、これが休耕地へ流れ込み堆積している。これからは悪臭が出ていたので至急対処してほしいというのが近所の意見である。実際にはそういつているのであるが、家畜が出すものは汚ないという感念があるし、量的にも最も多

いから一番注目されてしまうのであろう。これはここばかりの問題でなく、自分自身がやってもいざれこういつた問題にぶつかるのであろうが、しかし、一頭当り何万円もする処理施設を設けたのでは経営が成り立たないし、むずかしい問題である。

最近ではハンブシャーの市場価格がよいので、注文がハンブに集り、雄豚を毎日連用したため無理がかかり精虫数が減ってしまった。

毎日一人で一五、六頭の人工授精をしていると神経が疲れてくる。初めはなかなかうまく注入できないものである。結果もよくない。原因は技術的なものもあつたが、精液もよくなく精虫数が少なかつたからだ。そこで種雄の使用台帳を作った。計画的な使用によりようやく回復してきたようである。

十一月報告より

このあたり特有の遠州の空っ風が吹き

すきび、一度に冬がきたようで、全身鳥ハダが立ち、奥歯がガチガチなる。手の自由がきかないから、カナヅチで手を打つとたまらない。こういう時には人工授精もうまくいかない。冷たい水が手を引きさくようので、注入器もうまく進んでいかない。

十二月報告より

ミカンの最盛期に入り、富士の山も雪化粧した姿を毎日のように見せてくれている。時に暖かい日がある。

仕事も少しひまになって来た。おそろく子豚が安くなりだしたため先をみすごした農家が先手を打ち母豚をつぶしに出始めたからである。

ひまな時は特殊技術の実習である。例えば脱腸手術である。私が初めて手がけた豚はヘリ脱腸で、しかも一度だけか手術をして失敗した豚であったため、ご主人の指導を得ながらも一時間半もかかった。初めてのためか肩が張つたのをおぼえている。

こうして九ヶ月間の研修をおそわつたのである。最後にご主人から与えられたことばは、『人のやらない事をやれ！』ということだった。私はこれから一人で進んでゆかなければならないので、今までの経験をいかして努力することがご主人への恩返しだと胸に誓って、岡山への帰路へついた。